



## 盛岡市プレスリリース

～輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡～

令和8年9月4日  
教育委員会事務局  
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

### 第71回原敬記念館企画展

#### 「<sup>はらたかし</sup>原敬と司法省法学校の同窓たち」

原敬は明治9年(1876)20歳で司法省法学校(現東京大学法学部)に入学しました。同校は司法官を養成する8年制の官費の学校でしたが、原は3年目に寮の食事の改善を訴える学生運動に関わり、放校処分となります。原は他の退学者たちと励まし合い、自立の道を模索して新聞記者となり、やがて官僚、政治家への道を歩んでいきました。

本展では、原の司法省法学校入学から150年にあたることを記念し、同校入学から放校処分までの経緯や共に学んだ同窓たちとの交友について紹介します。

#### 記

【日 時】令和8年9月12日(土曜日)～11月23日(月曜日・祝日)  
9時00分から17時00分まで(入館は16時30分まで)

【休館日】毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  
※10月27日(火曜日)は臨時休館

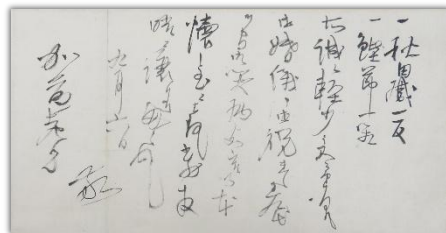
【場 所】原敬記念館小ホール 企画展示コーナー

#### 【内 容】主な展示資料

- ・原敬「法学校時代断片」(原敬文書研究会「大慈会」蔵)  
原が司法省法学校時代を回想して記したもの。「無風流観梅記」「司法卿訪問」等、4編からなる。
- ・陸羯南(中田実)書幅「登嶽三首之一」(弘前市立郷土文学館蔵)  
同窓のジャーナリストが、司法省法学校時代の富士登山を詠んだ漢詩。
- ・原敬、加藤恒忠宛 国分高胤書簡 明治19年(1886)9月30日(当館蔵)  
パリ公使館勤務の原へ、渡仏する知人を紹介した書簡。加藤(外交官)と国分(漢詩人)は、ともに同窓。



写真「司法省法学校時代の原敬ほか」  
明治9年(1876)秋  
(原昌彦氏蔵)



加藤恒忠(拓川)宛 原敬書簡  
明治30年(1897)9月6日  
(正岡明氏蔵)



福本日南「原敬論」(原敬自筆追記)  
明治41年(1908)2月・明治42年  
(1909)7月追記(当館蔵)

【費 用】一般300円、高校生200円、小中学生100円 ※盛岡市内の小中学生は無料

【主 催】原敬記念館(所管：盛岡市教育委員会)・公益財団法人盛岡市文化振興事業団

#### 【問い合わせ先】

原敬記念館

指定管理者：(公財)盛岡市文化振興事業団

担当：渡辺(わたなべ)

TEL：019-636-1192

原敬記念館  
第71回  
企画展

# 原敬と 司法省法学校の 同窓たち

令和8年9月12日土~11月23日月・祝

原敬記念館小ホール 企画展示コーナー

上:原敬(司法省法学校時代)  
下:司法省法学校同窓会

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)

※10/27(火)は臨時休館

入館料 一般 300円(団体 240円)

高校生 200円(団体 160円)

小・中学生 100円(団体 80円)

盛岡市内の小中学生は無料/団体入館料は20人以上の団体に適用

主催 原敬記念館(所管:盛岡市教育委員会)  
公益財団法人盛岡市文化振興事業団

共催 原敬を想う会

指定管理者:公益財団法人盛岡市文化振興事業団

## 原敬記念館

HARA-KEI MEMORIAL MUSEUM

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25

TEL:019-636-1192 FAX:019-636-1185

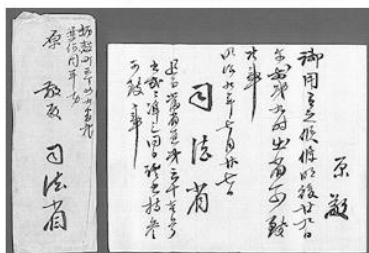


原敬記念館  
第71回企画展

# 原敬と 司法省法学校の 同窓たち

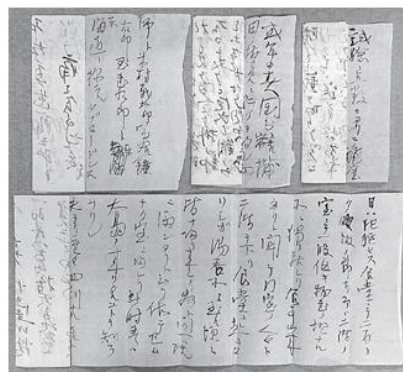
令和8年9月12日(土)～11月23日(月・祝)

司法省通達書 学校入学通知  
明治9年(1876)7月27日  
入学試験に合格した原へ、  
出省を指示した通知。



陸羯南(中田実)「登嶽三首之一」

弘前市立郷土文学館蔵  
同窓のジャーナリストが、法学校  
時代の富士登山を詠んだ漢詩。



原敬・加藤恒忠宛  
国分高嶺書簡

明治19年(1886)  
9月30日

パリ公使館勤務の原へ、  
渡仏する知人を紹介し  
た書簡。加藤(外交官)  
と国分(漢詩人)は、と  
もに同窓。

原敬「法学校時代断片」原敬文書研究会「大慈会」蔵  
原が司法省法学校時代を回想して記したもの。「無風  
流観梅記」「司法卿訪問」等、4編からなる。



はら たかし  
原 敬 | 1856～1921 |

安政3年(1856)2月9日、岩手郡本宮村(現盛岡市本宮)に生まれる。盛岡藩士・原直治の二男。藩校・作人館に学び上京、司法省法学校、郵便報知新聞記者等を経て外務省に入る。やがて政界へ進出、内務大臣等を経て第19代内閣総理大臣となった。日本初の本格的政党内閣を組織した「平民宰相」として支持を集めたが、大正10年(1921)11月4日、東京駅にて兇刃に倒れた。享年65歳。

## ◆企画展関連講座

演題／原敬と司法省法学校の同窓たち

講師／渡辺美知(原敬記念館学芸員)

日時／令和8年11月14日(土)13:30～15:00

受付／令和8年10月24日(土)10:00～電話にて先着20人

料金／無料

## ◆ギャラリートーク

日時／①令和8年10月3日(土)13:30～14:15

②令和8年11月14日(土)15:15～16:00

受付／①令和8年9月12日(土)、②10月24日(土)

いずれも10:00～電話にて先着20人

料金／入館料が必要(②のみ同日開催の講座参加者は無料)

## (公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ [他館のご案内]

### ◎盛岡市先人記念館

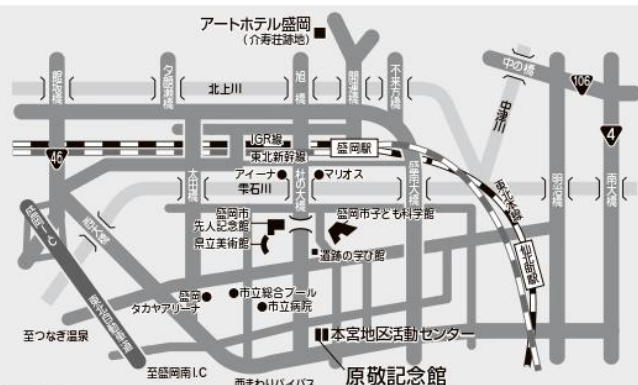
第74回企画展 生誕200年記念「大島高任ー日本近代製鉄の夜明けー」  
令和8年9月19日(土)～11月23日(月・祝)

### ◎石川啄木記念館

啄木生誕140周年 盛岡市・玉山村合併20周年記念  
第21回企画展「歌人 石川啄木の世界」  
令和8年12月12日(土)～令和9年3月22日(月・祝)

### ◎盛岡てがみ館

第78回企画展 高村光太郎没後70年「高村光太郎と岩手の人  
～手紙にみる交流～」  
令和8年10月14日(水)～令和9年2月8日(月)



交通アクセス

【バス】①「原敬記念館前」下車・盛岡駅発着 盛岡ループ200・矢巾営業所行 本宮線・羽後線  
②「もといち泉公園前」下車徒歩5分・イオンモール盛岡南線  
【タクシー】盛岡駅より約5分